

新 春 集 特 集

にいがた



市章



港のしるし船と中央の五をもって、安政五年通商条約により指定された五港を意味し、これに雪環を頂かせて五港の一つ新潟をあらわす

発行日 毎週日曜日 発行 新潟市 〒951 編集 総務部広報課 印刷 第一印刷所 学校町通1-602-1



新しい時代を望む 二つの「塔」

新しい年。新しい時代・21世紀に向けたまちづくりの礎(つち)音が響く。NEXT 21ビルが未来の姿を予感させる一方、明治初期から港を見つめてきた旧新潟税関(現・郷土資料館)の塔屋も、冬の陽にその姿を浮かび上がらせる。世界へ、未来へと開かれた港町新潟の新たな眺め――

「新潟発世界へ」のまちづくり



新潟市長 長谷川義明

市民の皆さん、明けましておめでとうございます。新しい年の始まりを清々しく喜びにあふれた気持ちでお迎えのことと思います。

私も新年を迎えて、新たな気持ちで二十一世紀に向けた、新しい時代の要請に的確に対応できるまちづくりに積極的に取り組んでまいりたいと思います。

昨年は、高齢化社会に向けた特別養護老人ホームやデイサービスセンターの設置、ホームヘルパーの倍増など福祉施策の充実に努めるとともに、白山地区に周辺整備計画を含む待望の市民文化会館建設のための公開提案競技を行うなど、文化振興施策の充実に努めました。さらに都市の環境対策として公共下水道を整備を最重要課題にすえて年平均3%の普及率向上を図っており、平成七年度には市民の約半数の方に利用

いただける見込みであります。一方、低迷する景気の浮揚策として各種経済関連対策事業の実施、不況対策特別融資制度の新設を行うとともに、中小企業に働く人々のための勤労者福祉サービスセンターも今春からのスタートに向け加入募集を開始したところで

平成五年度につきましては都市基盤の整備はもちろんです。省資源やごみのリサイクル施策、新しく設立する福祉公社を活用した施策、新郷土資料館構想など、環境対策や高齢者・障害者福祉、教育・文化振興に関する施策にさらに力を入れたいと考えております。

三月には新潟の三十年後に思いをはせた夢のある「にいがた21ビジョン」の提言がまとまります。また、就任以来市政懇談会をはじめ各界各層の方々と懇談した際伺った多くの貴重なご意見、ご要望を取り入れながら新しい総合計画の策定にもとりかかります。

新潟は世界に向けた玄関を空と海に持つ都市です。新潟・ウラジオストク間に定期航空路の開設が決まり、新潟空港はソウル、ハバロフスク、イルクーツクとあ

わせ四つの国際路線を持つこととなります。新幹線、高速交通体系の一層の整備により国際的にも新潟の拠点性を高め、新潟発世界へ向けて、仕事をすることも、住むのも新潟という魅力と活力にあふれた住み良いまちづくりのため、市民の皆さんとともに頑張っていく所存でおります。

年頭にあたり、皆さんの御多幸をお祈り申し上げます。こあいさついたします。

平成五年元旦